事業検証シート

基本目標	健康・福祉	すべての市民が健やかに暮らせるまち
施策名	高齢者福祉の充実	
基本事業名	高齢者サービスの充実	

事業名	包括的・継続的な支援体制の構築	☐ 新規　☑ 継続
目的	包括的・継続的な支援体制を構築し、高齢者に関わる相談を総合的に受け止め、適切なサービスを受けることができるよう支援を行う。	
手段	市民への意識啓発や関係機関との連携により、介護を必要とする高齢者の早期発見・対応に努める。また、状況の変化に応じたケアマネジメントが行えるよう介護支援専門員を支援する。	

事業開始年度	平成18	年度	事業終了年度	－	年度

成果指標	現状値の推移（実績）				目標値
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
①相談件数 ②対応件数	①1,619件／年 ②4,949件／年	①1,648件／年 ②4,909件／年			①2,200件／年 ②4,800件／年　※

事業評価	相談支援状況は増加傾向にあり、対応には時間を要する事例が増加してきている。 高齢者の支援相談窓口としてニーズは高い状況にある。迅速な対応と、地域の人材と連携しながら、高齢者の支援を継続していく必要性がある。 事業実績（平成29年度実績） 〇相談対応状況 1）地域包括支援センター　相談件数：　912件 対応件数：2,650件 在宅介護支援センター　相談件数：　736件 対応件数：2,259件 2）相談者別割合（包括分）　家族・親戚50.4%（↑）　本人28.1%（↓） 〇地域ケア個別会議　開催回数14回　参加者194人 地域ケア推進会議　開催回数　2回　参加者　24人 〇在宅医療介護連携推進事業　在宅医療・介護合同研修会の開催 退院調整ﾙｰﾙの運用（上十三圏域医療介護連携調整実証事業）
達成状況	☐ 達成できた　☑ おおむね達成できた　☐ 達成できなかった　☐ その他
今後の方向性	☐ さらに重点化を図る　☐ 現状のまま継続　☑ 内容を改善して継続 ☐ 事業の統廃合を図る　☐ 休止または廃止
上記理由	引き続き地域包括支援センターの機能強化をすすめ、包括的・継続的な支援体制を充実していく必要がある。そのため、より地域に根差した相談窓口の設置や地域における連携・協働の体制づくりをすすめていく。 （主な改善点） ・ 地域包括支援センター３圏域設置による相談窓口の強化 ・ 地域ケア会議推進事業の体制整備 ・ 在宅医療・介護連携推進事業の展開
備考	※平成30年度目標値変更　②5,000件／年

	２８年度	２９年度	３０年度	３１年度	３２年度
事業費実績（単位：千円）	23,758	23,363	－	－	－